

12月23日発行 403・49

les nouvelles Japon

ヌーヴェルエステティック日本版

esthétique spa

Winter

2017
Vol.90
¥1,500

ゆるやかな時間の
流れに満たされる
心と体の
癒しサロン

ボタニカル

ビューティ

パワー

BOTANICAL BEAUTY POWER

植物の力で、もっと美しく

大盛況の「第16回インディバ®コンベンション」で、 アクティブエイジングへの決意を新たに!

高周波温熱機器「インディバ®」「インディバ®・アクティブ」の発売元である株式会社インディバ・ジャパン(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:山口薫)は、11月12日に東京・TKPガーデンシティ品川で「第16回インディバ®・コンベンション」を開催。約400名を集め、会場は熱気に包まれました。



ユーザーの方々からの発表を中心に、毎年新たな有用性・有効性が発表されるインディバ®のコンベンション、今年は例年以上に「インディバ®」「インディバ®・アクティブ」の幅広いポテンシャルを示した1日でした。

午前中は高齢者の下肢ケアについて、デモンストレーションを行いながらの発表でスタート。今、国の大きな課題である「健康寿命延伸」や「QOL(生活の質)向上」に貢献できる施術が披露されました。続いて頸髄損傷による四肢麻痺からの回復の発表があり、損傷後8カ月の入院、リハビリ後でも右側優位の両側上・下肢不全麻痺症状があったものが、「インディバ®」の施術で、自宅やプールでの筋トレが自身でできるまでの状態になったことを、施術を行った整骨院の院長と施術を受けたご本人が登壇、会場を大きな感動で包みました。

午後は近年「インディバ®・アクティブ」の可能性について共同研究を行っている、京都大学大学院から、エクササイズを組合せての施術が痛みや機能障害において有意に改善が見られたという発表があった他、パラ水泳チームにおける活用状況という貴重な報告も行われました。

経営に関しては九州のエステティックサロンから発表があり、日々コツコツと「インディバ®」の価値を伝え、長らく通ってくれるお客さまを獲得した事例が報告されました。

メディカル分野からは脂肪吸引後での有用性が発表され、「脂肪を取るほど拘縮がきつくなるが、拘縮には「インディバ®」が最も適している」と言明。術後のクリニックと患者さんとのコミュニケーションツールとしても、患者さんの満足度向上の一助にもなっていることも明らかになりました。

インディバ・ジャパンからは山口祐司会長が、市場の変動は明らかで、だからこそ「インディバ®」の「便宜性」が優位であることを講演。

コンベンション全体から、「インディバ®」及び、「インディバ®・アクティブ」が多彩な領域で活用され、有用性が確認されていること。また、高齢化社会を迎えるにあたり、「健康で美しく」いたいという要望や期待に必ず応えていくという強い意志を感じた1日でした。

